

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月31日

事業所名 児童発達支援センターきらり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題・解決すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・定員内で活動を行っている。スペースは、パーテーションで利用者が落ち着いて活動できるようにしているが、少し狭いように感じる。 ・パーテーションを使用し、活動内容に合わせて部屋を分けて使用している。	・パーテーション等、を活用し過ごし易い環境を工夫し整えていく。
	2	職員の配置数は適切である	○		・保育士1名以上、児童指導員3名、児童発達支援管理責任者1名配置している。 ・利用定員に比べると支援の度合いが大きくないと少ないと感じる。	・職員配置についての説明は契約時に行っています。 ・病欠で休みがあった場合は、法人内事業所より研修の形で協力してもらっている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・絵、写真、文字等のスケジュールや手順書を用い、その児一人一人に合わせた環境設定の工夫やスケジュール等、視覚化を配慮した支援を行っている。 ・構造化環境は分かり易くパーテーションを活用し、動線を配慮している。 ・利用児の活動エリアに段差はない。使用しない遊具や備品等を、収納できる空間が欲しい。	・今後も個々の特性を理解し、一人一人に合った環境設定や構造化の理解を深め職員のスキルアップを目指す。 ・収納できる空間をパーテーション等で工夫していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・毎朝、掃除、机や遊具の消毒、換気など日々行っている。 ・運動する場所、集まる場所、着替える場所、勉強する場所、遊ぶ場所等、それぞれに部屋を分けて活動している。	今後も子供たちの活動に合わせた空間づくりに努めていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・スタッフ全員で業務が終了した後、毎回、振り返りを行う努力をしておき、活動の中で上手くいかなかった事を共有し、対応策を検討し次に繋げている。 ・PDCAサイクルの理解やスタッフの意見への傾聴等、不足している。 ・随時、時間を見つけて支援会議を行っている。	・更に、ミーティングの機会を確保し、PDCAサイクルの共通理解を図り、統一した支援を取り組んでいくよう努める。 ・スタッフの意見に傾聴し、支援方法等、共通理解を図る。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・半年ごとに保護者へ満足度を聞くようにしている。 ・毎年、年度末に評価シートを配布しアンケートに協力いただき、ご意見を頂いている。 ・今年度も年長さんグループの活動や外出行事等保護者の意見を頂き活動計画を行った。	・個別療育時、保護者の思いに寄り添い、保護者の思いや意向を丁寧に聞き、課題を共有し整理しながら取り組んでいく。 今後も年長児については就学前の登校の準備やランドセルの扱い方等、体験学習を継続していく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・職員全員で事業所評価を行い、改善点について意見を協議し改善点を出し合っている。 ・毎年ホームページに公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・第三者による外部評価は行っていない。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・子ども総合療育センターと連携し、随時で研修会を開催すると共に、地域の資源を活かし、関係機関との連携により内部研修等を実施している。 ・OT、PT、心理士による施設内研修を年5回行っている。 ・地域療育センターと連携し、感覚統合について活動の様子を保護者向けに研修を行った。 ・新しいスタッフも増えたので、もっと研修を増やしたい。	・心理士や言語聴覚士、療法士の方々との勉強会など、今後も積極的に計画していく。 ・障害の特性の理解や関わり方について、更に共通理解を深めていく。 ・今後も、定型発達の理解を深め、身辺自立について等、保護者支援について内部研修を重ね、スキルを高める。 ・保護者向け研修会を行い、技術向上に繋げる。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・相談支援専門員と連携を図り、利用児の生活歴や保護者の思いなどを十分把握するよう努めている。 ・いろいろな角度から情報を収集し、課題の整理を行い、個別支援計画を作成している。 ・契約時、保護者よりアセスメントを行い、丁寧に聞き取り、ニーズ表を作成し、課題の把握に努めている。	・保育所等訪問支援時に保育園、幼稚園等や相談支援事業所との共通理解図り、更なる連携に努めていく。
11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・フェイスシート、チェックリスト、保護者ニーズ記入表、課題の整理表等、使用し状況の把握に努めている。		

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援ガイドラインに基づき、一人一人に合わせた支援計画を作成し、必要な支援項目をグループ療育や個別療育で行っていて具体的な支援内容を記載している。	・支援の見立てを丁寧に行うためにサービス調整会議を随時、開催し具体的な支援内容や目標について、意見を出し合っている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・支援計画に沿って、日々の活動における目標設定を行い、どの場面で支援が行えるか確認し、打ち合わせを行っている。 ・支援計画は、半年に1回評価し、達成出来た所を確認している。 ・日々の記録にも目標を記入し、意識できるよう工夫している。	・今後も、サービス調整会議の中で、「個別支援計画」に基づいて意見交換を深めていく。 ・今後も、その日の活動プログラムにおける目標設定を行い、共通理解し実践に努める。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・毎月1回、活動計画で活動内容を決め、週1回、活動の週案作成会議で、役割分担や支援内容の確認を行っている。 ・スタッフ間で意見を出し合い、反映できるよう努めている。	・スタッフ全員が参加できる日に会議を設けている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・個々の目標や年齢等を考慮し、活動内容も個別的な関わりを配慮し、工夫している。 ・季節に合わせた活動を計画したり、センター外活動の計画を工夫している。 ・個々に合った活動プログラムを立てている。 ・楽しんで利用していただけるよう、活動内容を工夫し気を付けている。	・今後も興味を持って取り組める活動内容に配慮し、月の活動計画や週の活動スケジュール作成を行う。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・個別療育では、お子さんの状況に応じて、グループ活動で不足する部分を机上課題への取組で補い、グループ療育では、製作、ゲーム、感覚統合等を計画に織り込んでいる。 ・保護者のニーズに応じて目標を立て支援計画を作成している。	・グループ療育で上手くいきにくい課題等、についてスタッフ間で共有し、個別療育で丁寧に支援を行う。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・送迎もある為、短時間で前日や開始前に打ち合わせを行い、役割分担や支援内容、目標の確認などを行っている。 ・その日の記録記入時、振り返りを行い、気になった事やうまくいかなかった事、上手くいった事、変化がなかった事など意見を出し合うようにし、次回に繋げている。 ・送迎で参加できない時は、記録で共有している。	・今後も、スタッフ間で出た意見に傾聴し共有に努める。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			・今後も、スタッフ間で出た意見に傾聴し共有に努める。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々のねらいや目標を記し活動終了後、必ず支援記録を取り、次回に活かしている。 ・保護者には、連絡帳で活動の目標や様子を記録し情報の共有を行い、保護者との連携に努めている。	・今後も改善点や変化があったことを記録し、今後の支援に活かしていく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・6ヶ月に1回はモニタリングを行い、支援計画の見直しを検討している。 ・調整会議を行い、スタッフ間で検討している。	
	関係機	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者とケース担当者が参加している。 ・コロナ感染拡大の状況で、リモートで行う事もあったが、スムーズに行えた。
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・市町村保健師や保育園・幼稚園等の支援者と情報共有し、連携した支援に努めている。 ・地域療育センターと連携し受給者証を持たない児の支援を月1回、体験型療育を行っている。	・コロナ感染拡大の状況を踏まえながら、今後も関係機関と連携し、関係づくりに取り組んでいきたい。
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				今後、医療的ケアが必要な子供や重心のある子どもが利用する場合のことを考え、医療機関をはじめ、関係機関との連携を図ってきたい。また、医療的ケア児など支援者養成研修に参加した。今後も、受け入れ体制整備に努めていきたい。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・コロナ感染状況を見ながら保育所等訪問支援を行い、保育園、幼稚園と情報共有を行い、相互理解に努めている。又、送迎時、園の先生と情報共有を行っている。 ・コロナ禍で保育所等への訪問自粛を余儀なくされた。 ・就学前、園での様子を園の先生にサポートブック作成の協力をお願いし、保護者、事業所と作成している。	・今後も、地域で安心して生活できるよう、継続して関係機関と連携を深め情報共有に努めていきたい。

関 や 保 護 者 と の 連 携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートブックを保護者と共に作成し、保護者を通して小学校、特別支援学級に提供していただき情報共有を行っている。 ・学校見学同行の支援を行っている。 	・保護者の意見をしっかりと聞きながら、小学校と継続して情報共有と有効な支援を行っていききたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染拡大のため、1回の開催だったが、通所事業所連絡会議開催により、情報共有や助言の場が出来、意見交換ができた。 ・発達障害者支援センターの研修を年に数回研修を受けている。 	今後も児童発達支援事業所の連絡会議を継続し、課題等に対し皆で意見交換をしていきたい。また、地域資源を活用し、施設内研修等の機会を確保しスキルを高めていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回、家族療育で兄弟や家族同士の交流の機会を設けている。 ・コロナ感染予防の為、自粛している。 	今後もコロナ感染拡大防止等、への取組を徹底しながら、可能な限り交流の機会を作っていききたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に子ども部会がない為、参加できていない。 	・阿蘇圏域においても自立支援協議会「子ども部会」の設置に向け意見交換していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・単独グループ療育では、連絡帳に目標と活動の様子をお伝えしている。個別療育では、月に1~2回は、利用して頂き、振り返りの時間を設け、家庭や園での状況を伺って課題についても伝え合い共通理解している。 ・緊急時は電話で連絡している。 	・母子通所グループ療育も積極的に利用していただき、共通理解を深める。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域療育センターと連携し支援を行っている。 ・家族療育時や個別療育時、保護者の相談に対応し、一緒に考え関わり方等、助言を行っている。 ・上手くいく方法を伝え、実施状況を把握し支援している。 	・今後も地域療育センターと連携し、家族支援プログラムについて計画を行っていく。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明を行い、同意を頂いている。 	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画作成後に保護者に説明し、同意を頂き署名、捺印を頂いている。 	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の家族療育では、保護者同士の意見交換の場としても活用して頂いたり必要な助言も行っている。 ・個別療育を月に1~2回は利用して頂き、保護者の相談への助言を行っている。 ・連絡帳に相談の記入時やかけこみでの相談等、時間を作り支援に努めている。 	今後も定期的に、個別療育、家族療育時や連絡帳、電話等の相談に丁寧に適切に助言を行っていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・家族療育時、保護者同士の交流が出来るよう、情報交換の場を設けている。 ・月1回の家族療育時、保護者同士が交流できるような活動内容を工夫している。 	・今後もコロナ感染拡大防止の配慮を行いながら、保護者同士の集まりの開催について支援の検討をしていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育や家族療育時、保護者の相談やご意見を毎回伺っており、出来るだけ早く改善できるよう心がけている。 ・連絡帳や電話等で相談があった場合、迅速に対応している。 	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月おたよりを発行し、活動計画や活動の様子、行事等、情報を発信している。 ・ライン@で随時、活動状況を配信し都度、必要なご案内、書類等、配布している。 ・24時間、電話対応できるようにしている。 	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・十分注意し、関係機関に提供するときは事前に保護者等より同意を得ている。 ・ライン@やおたより等に載せる場合は、顔が映らないようにし、保護者の承諾を得ている。 ・事例検討する場合は、保護者の了解を頂いている。 	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や絵、文字等、視覚的支援の配慮をしている。 ・SNSやおたより、連絡帳、電話で行っている。 	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域食堂を行っているが、コロナで今年度も実施できなかった。 ・コロナ感染予防の為、自粛した。 ・コロナ感染予防の為、招待できなかった。 	・今後も、コロナ感染拡大防止への取組に配慮しつつ地域の方々との交流について検討していきたい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、避難訓練と不審者訓練を行っている。 ・保護者にも周知できるよう、月のおたよりと利用予定表に載せている。 ・マニュアルを作成してあるが、棚に入っており周知が不十分であった。 	職員や保護者の方にもマニュアルを見える化し周知徹底させていきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、火災訓練等、毎月1回実施しており毎月、役割分担を変えて訓練している。 ・年1～2回は消防署に来ていただき総合訓練を行っている。 	今後も継続して取り組んでいく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・契約後のアセスメント時、色々な角度から情報を集め状況の確認を行っている。 	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーの該当者はいない。 ・アセスメント時、状況確認を行っている。 	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の振返りのミーティング時、共有し検討している。 	今後、事例集を作成し、事故防止に努めていきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、虐待について内部研修会を開催している。 	虐待の気づきがあった時、保育園とも連携し、速やかに報告できる体制と適切な対応を行って行く。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・該当者は、いない。 ・飛び出し等、危険性を伴う児について保護者との情報共有、状況説明等を行い、記載をするようにしている。 	身体拘束について報告する為の様式整備を行う。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等向

児童発達支援評価

公表：令和 4年 3月31日

26件配布中、17件回収

事業所名 児童発達支援センター
きらり

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	17				<ul style="list-style-type: none"> ・広く、伸び伸びと活動できます。スペースもあります。 ・スペースが広くとられていたり集中できるスペースになっていて良いです。 ・広すぎず目が届いていいです。 		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか。	16	1			<ul style="list-style-type: none"> ・適切です。 ・子どもにしっかり関わってもらっていいです。 ・担当スタッフ以外でも、良く見ていただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、職員の急病等による休みで、ご迷惑をかけないよう、スタッフ間で支援プログラムや事前準備等、共有してまいります。 	
	3 生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	16				1	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強の場所、運動する場所等、に分けてあるので、子どももすぐに覚えられました。 ・集中できる配置や分かり易い工夫がされていて良いです。 ・お勉強と遊ぶ場所の切り替えできる作りになっていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、分かり易い空間や環境に努め、障害の特性に応じた適切な支援を目指していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	16				1	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもきれいで通っていて嬉しいです。 ・きれいで活動しやすいと思います。 ・いつも、家での生活空間作りの参考になっています。 ・手を洗う場所が他にもあるといいなと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、手洗い場所は、5か所設置されていますが、混雑せずスムーズに使用ができるよう工夫を行ってまいります。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	17				<ul style="list-style-type: none"> ・分からない時や、難しい時に、私にも分かりやすく説明してくれますので、助かります。 ・1年の目標を立ててくれるので、それを基に私も頑張れます。 ・こちらの考えや、希望がしっかり反映されています。 ・具体的な、実際に合った場面から、計画されています。 		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	2			<ul style="list-style-type: none"> ・一年の目標を立ててくれるので、それを基に私も頑張っています。 ・子ども個人に合っていて、良いと思います。 ・確認しすぎる程、確認を重ねられていると感じます。 		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	17				<ul style="list-style-type: none"> ・「はい」支援計画に沿った支援が行われています。 ・個別の後に、必ず確認があり、そう感じます。 		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	15	1			1	<ul style="list-style-type: none"> ・その子に合ったプログラムをしてくれます。 ・色々なプログラムがあり多方面から成長に必要なことが行われて良いと思います。 ・子どもが何よりも楽しんでます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、お子さんが楽しんで利用していただけるよう、活動プログラムの工夫を行ってまいります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	11	3			3		<ul style="list-style-type: none"> ・家族療育時、兄弟間との交流を深めています。今後も活動の機会を設けていきたいと考えています。
保護者への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	16	1			<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な説明でした。 ・説明がありました。 		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	16	1			<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な説明でした。 ・しっかりこちらの思いを分かって頂け、説明も良かったです。 ・確認しすぎる程、確認を重ねられていると感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も児童発達支援計画を示しながら分かりやすく、丁寧な支援内容の説明を行ってまいります。 	
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）が行われているか。	13	2			2	<ul style="list-style-type: none"> ・ダメではなく、違う言葉にすると良いとアドバイスしてくれ、助かりました。 ・プリントで説明があり、分かり易かったです。 ・年賀状つくりやクッキングに参加しました。 	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解が出来るか。	15	1			無回答 1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動後の話し合いの時間に、毎回、時間を取ってくれ、私の不安や子どもの事等、相談でき本当にいいです。 ・いつも、具体的に実践しやすいアドバイスを頂けるので、ありがたいです。 ・日常の少しの変化なども相談しやすく、感謝しています。 ・何でも正直に伝えて頂いて、助かります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もお子さんの変化や成長を伝え合い、課題についての整理を共有していきます。

	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	17			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの事等、相談でき本当にいいです。 ・個別の後、必ず相談の場があり、時間で切り上げたりもありません。 	
	15	父母の会や活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	11	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・色々なイベントを組んでくれ子どもも親も楽しめています。 ・機会は、少ないですが、支援されています。 ・以前、家族療育に参加させてもらい、保護者との交流ができ、良かったです。 ・家族療育の場で、お話しする機会があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族療育で、保護者同士の交流を行っています。連携が深められるよう活動の内容を工夫してまいります。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	17			<ul style="list-style-type: none"> ・「はい。」適切に対応されています。 ・必ず、連絡が入ります。 	相談や申し入れがあった際、迅速かつ適切に対応してまいります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	16	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・すごく、丁寧です。 ・連絡帳が分かりやすいです。 ・連絡の取り易い環境だと思います。 	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の除法や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	14	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントがあり、分かりやすいです。 ・いつも、タイムラインでグループの様子を見させて頂いています。グループ療育を見ることがないので様子が見れてあり難いです。これからも楽しみにしています。 ・おたよりの半分の写真などで、確認できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価については令和元年からホームページに掲載しております。今後も活動の様子や行事等、配信してまいります。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか。	14		3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの写真は、載せないをお願いしていたが、LAIN等載っていた。 ・危ないと感じた事もないです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・LAINについては、契約時、承諾書を頂くようにしています。顔は、分からないように塗りつぶしていますが、今後、写真を撮る時は、十分に配慮していきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	12	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策をもっと強化して欲しいです。子どももマスクを着用する、距離を開ける、細目に消毒する等、こう言う対策をしていますと言う事を発信して欲しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時、説明はさせて頂いていますが、コロナについては、周知が不十分で申し訳ありません。今後、十分な配信を行ってまいります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	12	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練も参加しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時の説明と、月のお便りに活動計画の中で定期的な訓練など、お知らせしておりますが、周知が不十分で申し訳ありません。今後、十分な説明を行ってまいります。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか。	16		1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもも、とても楽しく活動できているので、大変満足しています。 ・きらりさん、大好きです。 ・楽しい、新しい、経験が沢山できているようで良かったです。 ・きらりさんに通うようになり、娘は、自分の思いを伝える事が、上手になってきました。 ・いつも、優しく対応して下さり有難うございます。残り3ヶ月で、1年生になります。これまで成長できたのも、きらりスタッフ皆さんのおかげです。本当に、感謝の気持ちでいっぱい。いつも、本当にありがとうございます。 ・行きたくて仕方がないようです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通所を楽しみに利用していただけるよう、活動内容の工夫や、お子さん一人一人に合わせた支援を心がけて参ります。
	23	事業所の支援に満足しているか。	16	1		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもも、とても楽しく活動できているので、大変満足しています。 ・ここに通わせて良かったです。 ・満足している所も多いです。 ・前より毎日が楽しそうに過ごしているように見えます。母子ともに成長させてもらっています。いつも有難うございます。 ・いつも、優しく対応して下さり有難うございます。残り3ヶ月で、1年生になります。これまで成長できたのも、きらりスタッフ皆さんのおかげです。本当に、感謝の気持ちでいっぱい。いつも、本当に有難うございます。 ・生活しやすくなりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支給量を十分利用していただけるよう、今後も保護者様との日程調整等、丁寧に行い、支援に満足していただけるよう努めます。